

展開する事業群(1-1-5)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野		医療体制等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績
乳幼児医療費助成	就学前児童の医療費に係る一部負担金を助成 (再掲2-(1)-)	こども福祉	H17～21	(再掲2-(1)-)	(再掲2-(1)-)	(再掲2-(1)-)
医療体制の整備・充実	休日応急診療所事業の推進	健康介護	H17～21	年間70日開設 受診者数 738人 6歳以下348人 7歳～15歳以下126人 16歳以上 264人 1日平均受診者数10.5人	年間71日開設 受診者数 776人 6歳以下375人 7歳～15歳以下104人 16歳以上 297人 1日平均受診者数11人	年間70日開設 受診者数 876人 6歳以下420人 7歳～15歳以下114人 16歳以上 342人 1日平均受診者数12人
	地域医療体制の充実 (病院群輪番制・八幡市休日応急診療所)	健康介護	H17～21	・病院群輪番制の利用 2人、八幡市休日応急診療所の利用 9人 ・府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(山城北保健所管内は、宇治徳洲会病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。 ・府の救急医療情報システムの活用をした。	・病院群輪番制の利用 0人、八幡市休日応急診療所の利用 6人 ・府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(山城北保健所管内は、宇治徳洲会病院・第二岡本病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。 ・府の救急医療情報システムの活用をした。	病院群輪番制の利用 0人、八幡市休日応急診療所の利用 13人 府事業として、平成17年1月より、小児救急電話相談事業、平成17年10月より、小児救急医療体制(山城北保健所管内は、宇治徳洲会病院・第二岡本病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられた。その他 府の救急医療情報システムの活用をしていく。
関係機関との連携強化	関係機関との連携強化 (京都府保健医療計画における医療体制等の充実要請等)	健康介護	H17～21	見直し後の平成20年度から京都府保健医療計画が実施され、地域の保健医療を支える基盤整備、患者本位の安心・安全な医療体制の確立、および主な死因に着目した切れ目ない保健医療サービスの提供が計画の重点施策となっている。計画における市町村の役割について協力するとともに、計画の充実について要望した。	京都府保健医療計画の見直しがおこなわれ、平成20～24年度までの5年間の計画が策定された。地域の保健医療を支える基盤整備、患者本位の安心・安全な医療体制の確立、および主な死因に着目した切れ目ない保健医療サービスの提供が計画の重点施策となっている。計画における市町村の役割について協力するとともに、計画の充実について要望した。	京都府保健医療計画については、5年ごとの見直しが行われており、今回は平成19年度の予定。 休日・夜間・二次医療の整備を京都府が計画していくことを課題とし、市としては、近隣市町村と協力し効果的な体制づくりを府と共同実施していく。

17年度実績
母子健康手帳発行数 567人 妊娠11週までの早期交付 454人 80.1% 目標: 11週までの早期交付 80%
延べ 996件の助成を行った。
実人員 48人(延べ54件)
実人員 17人(延べ90件)
実人員 75人 (延べ170人) 13.2% 妊娠届出数 567人
実人員 52組(夫婦) 18.2% 初妊婦届出数 285組
実績無し
受診率 99.0% 受診者 580人 対象者 586人 目標: 受診率100% 未受診者の全数訪問
受診率 93.2% 受診者 572人 対象者 614人 目標: 受診率 95%
受診率 83.8% 受診者 532人 対象者 635人 目標: 受診率90%以上

来所率 90.7% 来所者 549人 対象者 605人
来所率 86.2% 来所者 544人 対象者 631人
参加者 852人 (乳幼児841人 妊婦11人)
発達相談 延べ 87人
260人
訪問 95.6% 258人 第1子270人 目標: 第1子を全数訪問
延べ414人
延べ59人
平成18年度から実施予定
平成18年度から実施予定
配付数 1,120冊
母子健診システム、予防接種システムとも平成19年度改正 予定
(感染症発生動向調査 京都府週報)により、週ごとの感染 症情報を収集

<p>ポリオ 75.7%、麻しん 103.1%、風しん 148.8%、三種混合 103.5% 二種混合(期) 67.7%、日本脳炎 16.8% 健康介護課は、高齢者インフルエンザ予防接種事業を実施。接種率51.1% 対象者数(9,259人) 目標:麻しんの早期接種率80%、風しんの接種率80%</p>
<p>BCG予防接種率 103.6% *BCG予防接種が3ヶ月児健診と同日実施となる。健康介護課は、65歳以上を対象としている。 目標:乳児のBCG予防接種率95%</p>
<p>【新型インフルエンザ、ノロウイルス等】に関する研修会、連絡会議等に出席。(新型インフルエンザ)に関する予防啓発を市のホームページに掲載。(エイズ月間、ミドリガメ等は虫類を原因とするサルモネラ症発生事例に係る注意喚起)に関するパンフレットを窓口に設置。(ハンセン病療養所入所者等に関する補償金支給制度)周知のため市広報紙掲載 (エイズ)に関する予防啓発パンフレットを成</p>
<p>16年度末に保健センターの増築を行い、乳幼児から高齢者を対象とした各種保健事業及び検診相談事業の同日実施や拡大実施をすることが出来た。</p>
<p>研修会 1回実施(養護教員を講師に研修会)</p>
<p>(再掲1-(3)-)</p>
<p>(再掲1-(3)-)</p>
<p>(再掲1-(2)-)</p>

17年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ・内科、歯科検診 各2回/年 ・尿、ぎょう虫卵検査 各1回/年 ・視力検査 1回/年
<p>職員の検便:月1回全職員</p>
<p>歯みがき教室 3回/年 保健研修 3回/年</p>
<p>定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。歯磨き指導を各園で行った。</p>
<p>私立幼稚園2園に対して、内科健診及び歯科健診を実施した補助として1名1種について1,000円の補助を行った。</p>
<p>定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。歯磨き指導を各園で行った。</p>
<p>各学校で学習指導要領に沿った指導計画に基づき指導を行った。エイズ指導1回、性教育3～4回、喫煙・薬物乱用の防止等、健康に関することについては、小学5・6年～中学3年までの授業で1回以上行った。</p>
<p>保護者の参加率 25% 骨粗しょう症を知る児童の割合 70.8% 目標:保護者参加率50%、児童の骨粗しょう症を知る割合95%</p>
<p>新小学校 2クラス(6年) 61名、普賢寺小学校 2学年(5年・6年) 29名 保護者10名 延べ100名 目標: 年2校</p>

17年度実績
(再掲1-(1)-) 参加者延べ45人
前期 580人 後期 549人
実施数 572人
2園 63組
(再掲1-(1)-)
(再掲1-(1)-)
申込者 22人 参加者 全5回 延べ 86人 年齢 31歳から71歳(平均60歳)
行事食の実施 展示食の実施 食と生活リズムのアンケート 給食だよりの発行
学校栄養職員2名による食に関する指導を各小学校を巡回して行った。年間2回。担任より教科、特別活動、給食時において常時指導を行った。

17年度実績
養護教員を講師に招き研修会及びグループワークを行った。1回
エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付。600部
(再掲1-(2)-) 3回実施 参加者数 64人
(再掲1-(1)-)各学校で学習指導要領に沿った指導計画に基づき指導を行った。エイズ指導1回、性教育3～4回、喫煙・薬物乱用の防止等、健康に関することについては、小学5・6年～中学3年までの授業で1回以上行った。

17年度実績

(再掲2-(1)-)

年間69日開設 受診者数 843人 6歳以下 421人、7歳～15歳 115人、16歳以上 307人、1日平均受診者 約12人

病院群輪番制の利用 1人、八幡市休日応急診療所の利用10人、府事業として、平成17年1月より、小児救急電話相談事業、平成17年10月より、小児救急医療体制(山城北保健所管内は、宇治徳洲会病院・第二岡本病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられた。その他 府の救急医療情報システムの活用をしていく。

京都府保健医療計画については、5年ごとの見直しがされており、次回は平成19年度の予定。休日・夜間・二次医療の整備を京都府が計画していくことを課題とし、市としては、近隣市町村と協力し効果的な体制づくりを府と共同実施していく。